

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- 2 一問一答方式

質問件名 タブレットはそろった。デジタル教科書と教材へ投資の英断を

質問要旨

GIGA スクール構想によって全児童生徒及び教員に一人一台タブレットが配られることとなった。しかしタブレットがあっても中身がないまま時間が過ぎるようでは、あまりにお粗末である。今こそ学習者用のデジタル教科書とデジタル教材(以下デジタル教科書及び教材と呼ぶ)を試験的にも導入する好機である。「誰一人取り残すことなく、公正に最適化された学びを提供する」と掲げられている教育長の英断を願いたい。

厚生労働省の調査によれば、読み書きに困難さを抱えるディスレクシア等の児童生徒は市の小・中学校だけでも潜在的に 300 人以上存在する可能性が高い。しかし実際に把握できているのは 56 名だけである。包括的なアセスメントが実施されず全数を把握できていない以上、取り残された子ども達を救うための現状最も有効な手段は、デジタル教科書及び教材を活用することである。また、もちろんそれだけではなく、広く知られているように、デジタル教科書及び教材活用のメリットはすべての児童生徒に及ぶ。多くの私立校においてはすでに ICT の活用が進んでおり、収入による教育格差を広げないためにも早期の導入が必要である。教員の働き方改革という点においても、導入時の負担は増えるものの、本格的な導入が進めば採点等の手間が軽減するなどの効果が期待されている。

また、昨年 4 月に施行された「学校教育基本法等の一部を改正する法律」により、各教科授業時数の 2 分の 1 に満たないことという条件付きではあるものの、すべての生徒が紙の教科書に代えてデジタル教科書を使えることとなった(視覚障害、発達障害等の特別な配慮を必要とする児童生徒等においては 2 分の 1 の制限はない)。環境は整っている。最も高額なタブレットは全支給されることになっており、費用が高いという問題の大半も解消している。今こそ、一步を踏み出す時である。

以上の理由から、関連した以下の質問を行う。

1. 市立小・中学校全クラス(全児童生徒)にデジタル教科書を例えば国語 1 教科分だけ購入する場合と、全教科分を購入する場合の、つまり下限値と上限値としての費用概算はいくらか。
2. デジタル教科書及び教材についての検討状況と、課題、解決策は。
3. デジタル教科書及び教材の導入に地方創生臨時交付金は活用できないか。
4. 国にデジタル教科書無償化の動きはあるか。
5. 市の予算に占める教育費配分の根拠は。全体予算の 10%程度と決まっているのか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

令和 2 年 8 月 31 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 安竹 洋平

受付番号【 】
